

1862年に現在の富山県で創業した佐藤工業は、今年7月に160年の節目を迎える。シンガポールでは1972年に事業を開始し、以来50年間多くの公共工事に携わり、インフラ整備の一翼を担ってきた。

シンガポールの土木工事では、77年に受注したベンジャミン・シアーズ・ブリッジをはじめ、サフティリンク・ブリッジ、ザ・ヘリックス&バイフロント・ブリッジ、シンガポール初となるNATMによる道路トンネル、フォートカニングトンネルや大断面地下高速道路であるマリリーナ湾岸高速道路を施工。また石油関連施設では2基のジュロン岩盤備蓄立坑（直径26m、深さ132m）に携わった。

地下鉄関連ではイーストウェスト線・パシリス駅・タンピネス駅・シメイ駅、ノースイースト線・センカン駅・バンコック駅・ブンゴル駅、環状線・ロロンチュアン駅、ダウンタウン線・ベドックノース駅・マター駅・ベンク

海外建設協会 プロジェクト便り

◆シンガポール

ヴィクトリアシアター&ヴィクトリアコンサートホール保存改修

佐藤工業

英知結集し歴史的建造物を再生

ーレン駅、トムソン線アップパー・トムソン駅を施工し、現在はクロスアイランド線タビストック駅工事とセンカン・ブンゴルLRT車両基地拡張工事に取り組んでいる。これまで携わったMRT工事（地上・地下駅14駅、高架橋11・6m、トンネル12・3km）は、MRTシステム全体の約10%に及ぶ。

建築工事では、2005年完成の最高裁判所、06年完成のナショナルミュージアム、12年完

成のマリーナベイクルーズセンタールを施工したが、今回は11・14年に施工したヴィクトリアシアター&ヴィクトリアコンサートホール保存改修工事を紹介する。

ヴィクトリアシアターは、1855・62年に市役所として建設された。ヴィクトリアコンサートホールは、1905年に英国ヴィクトリア女王を追悼してメモリアルホールとして整備し、これらをつなぐように建つ時計塔の完成で一体となった国家遺産である。

細心の注意払って施工管理

ヴィクトリアシアターでは、100年以上前に積まれたレンガ造の既存外壁を自立させたまま、内部を地下2階・地上3階のRC一部S造とする大規模な改修を行った。既存壁直下での地下工事は綿密な計画の下、慎重に進められ、アンダーピニングで支持し既存壁の変位量をリアルタイムでモニタリングするなど、躯体工事が完了するまで、既存壁の維持管理には細心の注意が払われた。

また受変電装置、チャラー室、タンク室等の設備室は、同じく国家遺産である旧国会議事堂が近接する隣接道路の地下に配置



改修工事を終えたシアター&ホール外観

シアター（上）とホールの内観



置は、ドイツから招いた専門家チームが担当した。

時計塔に設置されている時計は、オリジナルメーカーであるグレット&ジョンストン社から技術者を招いてムーブメントを解体し、生産国である英国にて移送してオーバーホールを行った上で、自動巻き装置とともに再設置している。

シンガポール国民や多くの観光客を今も魅了し続けている歴史的建造物の改修に、当社が携われたことは光栄である。これからも、当社の英知を結集してシンガポール社会に貢献していきたい。

（建築海外事業部・加藤純）